

令和4年3月25日

(あて先) 熊本市長

団体名 NPO法人ガット

代表者 職名 理事長 氏名 西村 るり



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和3年4月1日付け指令(地活)第1-6号により、熊本市市民公益活動支援助成金

の交付決定*を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

ステップアップ助成

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
熊本市立小・中学校の学校図書館活性化事業

2 助成事業の実施期間

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月13日

3 助成事業の内容

事業1「学校図書館相談事業」では、熊本市内の小・中学校の司書、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し、希望校を募った。実施校を決定し、視察を行い、課題を把握して改善内容と方法を考えた。実施校は、楠小学校、西里小学校、高橋小学校、池上小学校、隈庄小学校の5校であった。

事業2「学校図書館の改善の工夫・図書館の効果的な活用法等についての学習会」では、先進校の司書を講師として招き、図書館の改善の方法について話し合う会を実施した。事業のまとめとしては広報誌やホームページで活動内容についての報告をした。

4 事業の成果

相談事業の内容は、子ども達が使いやすい図書館にするためにはどうしたらよいかというものであった。各学校の実態に合わせてリニューアルに向けて計画書を作成し、多すぎる本を整理して書架を減らすことで見通しの良い館内にすること、書架の配置を工夫し本を分類ごとに並べること、必要に応じてカウンターの移動や書架を切って低くする等の作業を行った。リニューアルで変身した図書館に、子ども達も先生方も驚かれ、喜ばれたそうである。子ども達からのお礼の手紙を受け取り、私達も感激するとともに、子ども達が本に親しみながら学びを深めていることは、本事業の目的を達成できたところであり嬉しく思っている。学習会では、図書館の改善方法について聞くだけでなく、図書館が子ども達の学びにどう関わっていくかについて、参加者が日頃から思っていることを出し合い話し合う中で、すぐに実践につなぐことのできるアイデアも得ることができた。今後も子ども達の一番身近な図書館を充実させ、子ども達の健全育成に少しでも役に立てるよう努力していきたい。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書(様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	0	
当該事業による収益	0	
当該事業に対する寄附・協賛金	80,000	¥20,000×4人=¥80,000
その他の自己資金	37,172	
当該事業に対する助成金額	230,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	347,172	

◆支出決算 (事業別)

事業名 支出費目	事業1	事業2	事業3	合計
	学校図書館相談 事業	学校図書館の改 善の工夫・図書館 の効果的な活用 法等についての 学習会		
人件費	156,000	3,000		159,000
報償費	0	10,000		10,000
旅費	0	0		0
人件費等合計【A】	156,000	13,000		169,000
役務費	11,508	11,508		23,016
使用料・賃借料	0	5,830		5,830
事務・消耗品費	127,465	17,377		144,842
委託費	1,969	2,515		4,484
合計	296,942	50,230		347,172

助成申請上限額 (助成種別：ステップアップ助成)

[事業費 347,172 - 控除額【E】 0] × 2/3 = 231,448

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	169,000	→	超過人件費【C】※	0
事業費の1/2【B】	173,586		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	-4,586		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1 [学校図書館相談事業]

人件費	¥3,000×52人=¥156,000
報償費	なし
旅費	なし
役務費	送料¥84×137通=¥11,508
使用料・賃借料	なし
事務・消耗品費	材料費 ¥78,596 図書購入費 ¥19,200 カラーインクカートリッジ代 ¥25,903 用紙代・事務用品代 ¥3,766
委託費	チラシ¥1,969

事業2 [学校図書館の改善の工夫・図書館の効果的な活用法等についての学習会]

人件費	¥500×6人=¥3,000
報償費	講師1人¥10,000
旅費	なし
役務費	送料¥84×137通=¥11,508
使用料・賃借料	¥5,830
事務・消耗品費	集団テキスト購入費¥200×30人×2種類=¥12,000 黒インク代¥3,111 用紙代・事務用品代¥2,266
委託費	チラシ¥2,515

事業3 []

人件費	
報償費	
旅費	
役務費	
使用料・賃借料	
事務・消耗品費	
委託費	

事業報告書

実施年度	令和３年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 熊本市立小・中学校の学校図書館活性化事業
事業期間	令和３年４月１日 ～令和４年３月１３日
事業の目的	子どもたちの豊かな心の育成のために、読書は大きな役割を担っている。学校図書館は、子どもたちにとって読書の森であり知識の泉となる。しかし、実際には学校図書館が本来の役割を果たせていない場合が少なくない。それは、学校図書館を整える時間が取れなかったり、うまく機能させるためのスキルが活かされていなかったりするためである。魅力的な学校図書館づくりをすることで学校図書館が活性化し、子どもたちはますます読書に親しみながら心を育み、本で学びを深めることができるだろう。子どもたちが集まる楽しい学校図書館づくりをすることは、子どもたちの健全な育成のための一助となると考えている。
具体的な 事業内容	熊本市内の小・中学校の司書（司書補助員）、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し希望校を募った。相談事業実施校については、まず視察や相談内容をとおして課題をとらえ、改善内容を検討した。次にガットが改善案を作成し、実施校に回答した。運営のための準備として、遮光のためのブラインドの取り付けや目隠しシート貼りを中心に作業を行った。また、熊本市立小・中学校の図書館関係者を募って、先進校の司書を講師として、図書館の改善の方法について聞き、参加者が日頃から思っていることを出し合い考えを深める学習会を開催した。 事業１ 学校図書館相談事業 ①相談事業のチラシ郵送１３７校（６月）②実施校決定 ③相談内容検討 ④相談内容回答 ⑤準備作業のサポート 実施校 ①楠小６月３０日（視察）７月３０、３１日（作業）②西里小６月３０日（視察） ８月１０、１１日（作業）③高橋小８月５、６日（作業）④池上小１１月１２日（視察） １２月２５、２７日（作業）⑤隈庄小１１月１２日（視察）１月６、８日（作業） ※時間は各校とも視察・作業 ２～６時間 事業２ 学校図書館の改善の工夫・図書館の効果的な活用法等についての学習会 ①学習会案内チラシ郵送１３７校（２月） ②学習会 図書館の改善方法と実践について語る会 ２月２６日 １３時～１６時（準備片づけを含む）くまもと県民交流館
実施場所	事業１ 楠小学校、西里小学校、高橋小学校、池上小学校、隈庄小学校 事業２ くまもと県民交流館パレア
協力団体	
事業の効果 ・公益性	当事業を通して、学校図書館が魅力的なものとなり、子どもたちが親しみをもって図書館を利用することで、読書への関心が高まっていくと考える。また、学校図書館に関わる学校職員の意識向上により、子どもたちへの読書指導や図書館を活用した調べ学習が、より充実していくと思われる。さらに、相談事業後の学習会をもつことによって、学校間がつながり各学校の取組みを紹介し合ったり共有したりできれば、より一層児童生徒の学校図書館利用が活発になっていくであろう。
次年度以降の 事業展望	これまでに相談事業を実施した学校から未実施の学校へと、ガットの活動の様子が伝わり広がっている。すでに相談したいという学校からの連絡を受けているところである。今年度でわくわく基金の助成はいったん終わりとなる。また、新事業の展開を考えているところでもあるので、これまでのように数校での実施は難しくなると思われる。しかし、熊本市内全部の小中学校図書館の機能を高め、児童生徒の学びの質や読書意欲の向上に寄与したいという思いは変わっていない。どうにかこれまでの事業を継続できるように工夫していく。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	本事業は子どもたちが集まる学校図書館づくりであり、そこに集まる子どもたちを中心に人と人とがつながる大切な場をつくることでもある。近年、学校図書館は教室に入れない子どもたちの癒しの場としても活用されている。また、読み聞かせボランティアの方々やお話会の方々のご協力によって、読書が苦手な子どもたちも読書体験ができ、読書の楽しさを味わうことができている。学校図書館に携わる人や地域のボランティアの人やお話会の方々と連携により、本で人と人がつながる心豊かな熊本市にするために、私たちは今後も新しい取り組みを展開していく。